

Covid-19感染によって惹起された 高齢者急性心不全の3症例

なが み はる ひこ た ばら ひで き¹⁾ せ しも たつ ゆき¹⁾
長 見 晴 彦¹⁾ 田 原 英 樹¹⁾ 瀬 下 達 之¹⁾
さ とう ひろし あら がき まさ とし¹⁾ ひろ せ まさ ひろ¹⁾
佐 藤 博¹⁾ 新 垣 昌 利¹⁾ 廣 瀬 昌 博¹⁾
お ぐろ ひろ あき²⁾
小 黒 浩 明²⁾

キーワード：Covid-19感染，慢性心不全急性増悪，たこつぼ心筋症，
冠動脈硬化症，BNP

要 旨

Covid-19感染症の重症病態の主体はウイルス性肺炎であるが心筋炎合併，全身性炎症反応や血栓症を介して心血管系にさまざまな障害をもたらすことが明らかになった。Covid-19による心筋障害は心筋トロポニン上昇として認識され，文献的には入院となったCovid-19患者では75%に心電図異常，20%に血中トロポニン上昇を認め，心臓MRIにおいても心筋肥厚・浮腫，左室収縮能低下を認めることが報告されている。今回，Covid-19感染後に心筋障害に起因したと推測された高齢者心不全増悪（急性心不全）の3症例を経験したので報告する。

はじめに

当院は2019年冬季のCovid-19（SARS-CoV-2）感染拡大初期より施設高齢者を中心に多くの患者を受け入れてきたが肺塞栓症，肺炎などの急性呼吸不全によって比較的多くの死亡例を経験した。その後SARS-CoV-2の株変異に伴い呼吸器疾患の重症例は漸減したが，心不全既往のあるCovid-19入院患者において心不全の急性増悪症例を散見す

るようになった。Covid-19の原因ウイルスであるSARS-CoV-2は宿主細胞側受容体であるアンジオテンシン変換酵素2（ACE 2, angiotensin converting enzyme 2）受容体を介して直接的に心筋に炎症・障害を起こすのみならずACE 2の作用を低下させる。ACE 2はアンジオテンシンII（Ang-II）をAng1-7に，アンジオテンシンI（Ang-I）をAng1-9に分解する細胞膜酵素であり組織Ang-II量を調整しているためSARS-CoV-2によるACE 2の作用低下によって過剰となったAng-IIがアンジオテンシ type1 受容体に結合すれば血管内皮細胞の酸化ストレス増加も含めた血管内皮障害が顕著となる。この血管内皮障

Haruhiko NAGAMI et al.

1) 出雲徳洲会病院総合診療科

2) 同 神経内科

連絡先：〒699-0631 島根県出雲市斐川町直江3964-1

出雲徳洲会病院 総合診療科